

「安全」へ「官民あげて」全力投球



発行・編集
三島建設業協会
広報委員会
三島市玉川250の2
電話 (055) 975-0332
ホームページ <http://www.misimakenkyo.jp>
発行日 毎月1日

無事故・無災害願ひ

三嶋大社で安全祈願



三島建設業協会（小野徹会長）の安全委員会（森田崇委員長）は1月23日、新年恒例の安全祈願祭を開催するとともに、委員会を開いた。

安全祈願祭は、三島市大宮町の三嶋大社で行い、小野会長をはじめ佐野茂樹副会長、土屋龍太郎副会長、総務委員会の山本良一委員長、安全委員会の委員に加え、三島労働基準監督署の松尾進署長が参加して、今年1年の無事故・無災害を祈願した。

祈願祭の後、2018年度第2回安全委員会を協会中会議室で開き、冒頭、森田委員長があいさつに立ち、働き方改革について触れた後、「現場の安全を確保し、第三者災害や交通事故



たおやかに咲き、匂い立つ春の装い、熱海桜
(熱海市内 撮影 青木久尚氏)

故を含め災害ゼロを目指して頑張っていきたい。皆さまの協力を得ながら安全大会をはじめフルハーンネス講習などを進めていきたい。

今年1年もまたよろしくお願ひしたい」と新年の抱負を述べ、日ごろからの委員会活動や事業に対する協力

に感謝した。委員会では2019年度の事業計画について協議し、安全大会や安全指導者研修、安全パトロール、足場などの各種作業主任者技術講習会の実施時期を検討したほか、フルハーンネス特別教育の開催を決めた。

大学で土木を学び、「地元の静岡で働きたい」という思いで静岡県に入庁した。最初は何となくという印象があったが、業務を通して、

「県職員は人が見ていないところでもしっかりと仕事をこなしているんだ」という印象を持った」と話す。当時は災害が頻発していたため、復旧工事を担当することもあった。「一から工事を担当させてもらったことで勉強になり、また職人気質の



静岡県熱海土木事務所
技監兼伊東支所長
ぬまのかつし
沼野 克史 氏

【略歴】 1989年入庁、2011年富士土木事務所企画班長、2013年建設技術管理センター駐在、2015年交通基盤部道路局企画課専門監（静岡県道路公社へ派遣）を経て2018年4月より現職

建設業は地域に必要な産業 官民協力し業界の活性化を

平成7年に発生した阪神・淡路大震災の際は、県土木部道路維持課維持防災係技師として、県内の道路の防災点検や橋梁の補修・補強などを担当した。中でも有事の際の緊急車両の通行を確保するための道路である緊急輸送路の指定に携わったことが印象に残っているそうだ。

伊東支所に赴任してから約10カ月が経過し、職場に

「建設業界に対しては、慢性的に道路の渋滞が発生している。それが少しでも改善できる道路事業を進めていければ」と今後の意気込みを語る。

初めて赴任した伊東の印象は、「東海岸は観光産業が盛んでにぎやかなイメージがある」と話しつつ、



静岡県東部地域道路啓開検討会 三島建設業協会で意見交換 土木・災害対策委

三島建設業協会（小野徹会長）は、建設業労働災害防止協会静岡支部三島分会（小野徹分会長）は、沼津土木事務所（原広司所長）と共催で1月17日、三建大会議室で「工事事故の防止に関する意見交換会」を開催した。

当日は協会から小野会長はじめ工事部門責任者ら19

工事事故の防止に関する 意見交換会開催 三建、防災三島分会

さんご意見も伺い、これ以上事故のないようお互い力を合わせて頑張っていきたい」と述べた。

次に小野会長が「第三者事故が頻発しているという点で、実務の責任者、担当者に集まってもらった。こういう場を設けていただいたことに感謝申し上げる。事故に対する万全な防

御策をとるのはなかなか難しいが、ここで出たケースの対応を会社に戻って皆さんに話していただくことが重要だと思ふ。沼津土木事務所とのパートナーシップの中で第三者事故を防いでいくことに努力願いたい。本日の意見交換会が充実したものとなるようにしたい」とあいさつした。



「事故の情報共有化などすぐ対応できることや今後の検討事項をいろいろ発言していただき有意義な交換会になった」と話した。

各団体長表彰推薦を審議 総務委

総務委

三島建設業協会総務委員（山本良一委員長）は12月17日、協会員会議室で第3回委員会を開き、全国を含む各団体長表彰推薦者を決めたほか、協会創立70周年記念事業の進捗状況などを報告した。

冒頭、山本委員長は「今回の議題は各団体の表彰者の選考であり慎重な審議をお願いしたい。11月に総務委員会の視察旅行で沖縄に行ってきたが、沖縄県のインフラ整備を実際に目にする

委員会では、静岡県建設業協会や全国建設業協会、静岡県建設産業団体連合会などの表彰について、各規程に基づき推薦を審議。県建設業協会長表彰（2条3



また、創立70周年記念事業では開催日や記念講演会の講師決定などについて報告した。

水を力に寒鯉の沈みたり 日差し満月の欠けのいささか寒明くる 日差し春蘭や纏（まと）ひしもの に思ひ出も マサ子白梅を一輪添へておもてなし 礼子動かさる水を動かす寒の鯉 和子切れ端をつまみて作る豆雛（ひな） 文代端に書く暦の予定春浅し 藍子ふらふら（＝ブランコ）を漕（こ）いで少女となる途中 文子春の雲一休みする水たまりを 斗潮春分を過ぎて秒針早きかな たつお梅園の端折（はしよ）りす 苺菜ほつぽつと梅見の隙（すき）の空青き 真砂代

梶原景時の肅清

和泉 清

正治元年（1199）1月、將軍源頼朝は世を去った。武家政治の創始者の死であり、專制的独裁者の死でもあった。

二代將軍の座は嫡男頼家（18歳）が継いだ。頼朝以来の老臣・旧側近たちは、この二代目の手腕に大きな不安を抱いた。彼らは北条政子と諮って頼家の独裁権を奪った。すなわち御家人の實力者13名による合議制によって政治を行うことにしたのである。

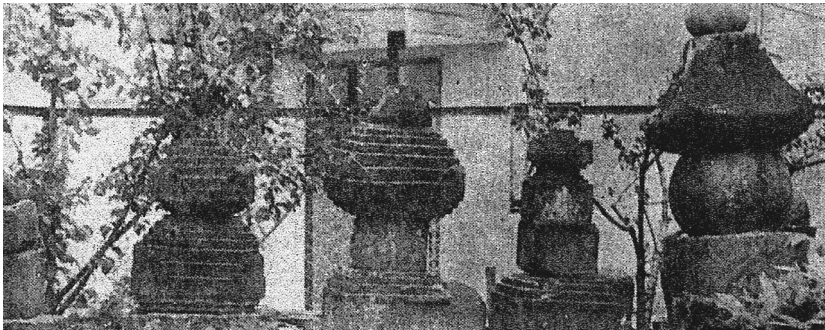
梶原平三景時は、このメーバーの一人であった。頼朝の拳兵の時、石橋山の合戦で平家方の大場景親に従って鎌倉の頼朝に報告し、頼朝の窮地を救ったことにより、のちに頼朝の元に参加して龍臣となった異色の武将である。以後重臣の列に加えられる重用された。吾妻鏡には「文筆には携わらないが、言語が巧みであることが頼朝の意にかなない云々」とある。

本曾義仲追討、平家追討を通じて見つけることで、もつ一度災害への意識を高めてもらえたら」という願いで、狩野川台風60年公演『狩野川台風』が行われた。

しかしながら、景時は謙言をもって人を陥れた狡猾な人物とされ評判が悪い。屋島の合戦で「逆鱗の策」が拒否されたのを恨み、義経を頼朝に讒言して、ついに失脚させたという話は名高いが、景時はもともと御家人たちの勤務評定や取り締りに当たる侍所の次官であり、その職責ゆえに頼朝から義経軍に付けられた軍監であった。（ここまで書いてきて筆者は、景時と後世の石田三成との共通点の多さに驚いた次第である）

しかも、このような役職は、職務に忠実であればあるほど他人に嫌われ恨みを買ってしまうことになる。そして景時は正に忠実であった。それゆえ「文治より以降、景時の讒言により命を落とす職を失った者は数えきれない」と厳しく糾弾されることになったのである。

頼朝が死んだ年の秋のことである。生前の頼朝に目をかけられた結城朝光が旧恩を懐かしんだ際、「忠臣は二君に仕えず」という言葉を使ったところが数日して



景時父子之墓（梶原山頂より移す）

阿波局（政子の妹）が朝光に恐ろしいことを告げた。景時が朝光の言葉「二君に仕えず」は新將軍頼家に叛意を抱くものだとし、讒言し、そのため朝光は誅殺されたことになった、というのである。

仰天した朝光は三浦義村、和田義盛ら實力者に相談した。ここに至って、かねてから景時を快く思わぬ御家人たちは集議談合し、景時の排除を謀ったのである。

それは「讒者一人と我ら御家人一同と、どちらが大切か」將軍の返答次第では武力行使も辞さないという策

であった。將軍に上程された弾劾文には66人の有力御家人が名を連ねていた。景時は將軍に糾問されたが何の申し開きもしなかったという。そして彼は所領の相模一宮に引き籠り、鎌倉の梶原氏は御家人たちによって破却された。

明けて正治2年1月、景時謀反の報が幕府にもたらされた。上洛し九州の武士と謀って甲斐源氏の武田有義を將軍にしようとしていたというのである。

幕府はただちに追討軍を發したが、軍が追いつくより前に、梶原一族は駿河の清見関で土地の武士たちにより全員が討ち取られた。一連の事件は、執権で駿河の守護であった北条時政が、幕府の實権奪取のため仕組んだ筋書き通りに行なわれたという説が有力である。

小窓

狩野川台風は1958年（昭和33年）9月26日深夜、狩野川流域を中心に関東地方まで死者行方不明者千人以上、家屋の全・半壊・流出約一万六千戸と大きな被害を与えた台風である。

伊東で生まれた私、当時生後6か月、狩野川台風の記憶は無い。幸いにも家は市内から少し離れた小高い山の上に有った為、家族全員無事であったと記憶する。

伊東市内に於いても橋に流木や土石などが詰まって各所で氾濫が発生し、50人以上が犠牲になるなど甚大な被害があったと言われている。

昨年はこの狩野川台風から60年、この未曾有の大災害を語り継ぎ、防災意識を高めようとする伊豆の国市、伊東市などで様々な催しが行われました。

伊豆市では修善寺総合会館で9月22日・23日に「この地にあった出来事を、劇

『狩野川台風』の記憶と教訓をつなぐために

三建広報委員 村上 千明
(株伊豆急ハウジング)

伊豆の国市郷土資料館（中央図書館二階）では9月から二ヶ月間、狩野川台風被害の写真や新聞記事のスクラップなどの貴重な資料の展示が行われ、来館者の関心を集めていた。

また国土交通省沼津河川国道事務所伊豆長岡出張所内の狩野川資料館では、11月12日から23日まで狩野川台風をアートの視点からとらえた展覧会「水のかたりべ」が開かれた。映像と狩野川資料館が所蔵する約600枚もの記録写真が展示され、すばらしい展覧会であった。

伊東市においては3カ所で狩野川台風の写真展が行われた。



次の60年の備えを議論した狩野川台風60年シンポジウム

9月18日から28日に市役所で白黒写真45枚を飾り、来庁者に市内各所の被害の様子を視覚で伝えた。10月3日から12日に佐美コミュニティセンターに場所を移し開催された。

伊東市猪戸の山茶花（旧江戸屋）ギャラリーでは、9月14日から5日間、伊東市市佐美に住む方が撮影し



狩野川放水路の長岡トンネル。トンネルの大きさは3階建ての校舎とほぼ同じ

た貴重な市内の被災状況50枚の写真が展覧されていた。また伊東市の伊豆半島ジオパーク伊東ヒジターセンタ―「ジオテラス伊東」（伊豆急伊豆高原駅やまもプラザ内）では、8月25日から9月30日まで市内の被災写真約70点が並び来訪者の関心を集めていた。反響が大きく会期を二週間ほど延ばしたとつである。

2018年も西日本豪雨や台風で、日常生活に大きな混乱が生じたことは記憶に新しい。特に台風12号では伊豆半島東海岸の道路や護岸が高波により流失。台風24号では県西部地域の大規模な停電など、近年、洪水や暴風など気候変動を要因とする自然災害が多くなっている。

狩野川台風から60年が経過し、当時を知る人は高齢

『優良産廃処理業者認定制度』静岡県知事認定取得第一号

◆優良認定制度は、優良な産廃処理業者への処理委託を推進することによって排出事業者の環境への配慮を促進する目的で定められています。

全国産業廃棄物連合会『優良事業所』表彰

電子マニフェスト即対応（JWNET,e-reverse,e-マニフェスト） 工場見学随時受付

SEKI TRANSYS セキトランスシステム
HP <http://www.sekitransys.co.jp>
本社 / 〒411-0933 静岡県駿東郡長泉町納米里515-1 TEL (055) 988-6868

廃棄物中間処理		管理型最終処分場	クレーン作業
ゼロエミ処理対応	サーマルリサイクル施設		
破砕・圧縮・切断・溶融固化	焼却処分	埋立指定廃棄物に対応中	
運輸・倉庫	テクパル		
家電リサイクル指定引取場所	住宅設備機器販売	太陽光発電システム販売	

JIS工場からより良い製品をお届けします。

コンクリート製品の御用命の筋は下記の会社へ是非共お願い致します。

（営業品目）

土木用間知ブロック・道路用製品他

土 屋 建 材 株式会社
営 尾 工 業 株式会社

営業品目

砕 石・割 栗 石
間 知 石・埋土工事

立岩石材(株)伊豆市船原 (0558) 87-0831
二葉建設(株)御殿場市新橋 (0550) 82-2087
伊豆地区採石業災害防止協議会

SHINKO
土木/解体工事・不動産事業
本社:伊東市富戸1091-7 TEL0557-51-4755
工事部:伊東市吉田920-40 TEL0557-51-4362
産業廃棄物運搬・処分
処分場:伊東市富戸1285-17 TEL0557-51-4722
(株)新光重機土木

